

福山市立大学
初年次教育授業支援業務委託
入札仕様書

2024年(令和6年)6月28日
公立大学法人福山市立大学
事務局 学務課

- 1 委託業務名
福山市立大学初年次教育授業支援業務
- 2 履行期間
2024年(令和6年)8月1日から2025年(令和7年)2月28日まで
- 3 履行場所
福山市立大学(以下「本学」という。)が指定する場所
- 4 委託する業務の内容
本学の初年次教育の授業科目である「大学入門ゼミⅡ」(1年次の必修科目)を教授する本学教員の授業の支援を行う。
- 5 授業科目の受講者数及び開講クラス
受講対象は、都市経営学部(1年次及び再履修者)の約156人とする。
1クラスあたりの受講者数は約39人とし、計4クラスを開講する。
- 6 講師の体制
 - (1) 講師の派遣人数
受注者は、上記5のクラスの授業支援のため、1クラスあたり講師1人として、最低でも同時開講する2クラス分の2人の講師を本学に派遣するものとする。
 - (2) 講師の要件
講師は、クリティカルシンキング(批判的思考力)やロジカルライティング(論理的表現力)などのアカデミックスキルの授業支援が可能な相当の指導力を有するものとする。
 - (3) 講師の選任
受注者は、本業務の契約締結後、授業支援の開始前に、派遣する講師の履歴書(職務経歴と取得資格が分かるもので、様式は任意とする。)を提出し、あらかじめ本学の承認を得るものとする。
なお、不慮の事故等で講師の変更が生じた場合は、直ちに後任の講師を推薦するものとし、その講師についてもあらかじめ本学の承認を得るものとする。
- 7 委託業務の日程、回数等
 - (1) 業務日程
原則として別紙の『2024年度(令和6年度)「大学入門ゼミⅡ」授業スケジュール』に基づくものとし、受注者は発注者と事前に協議して定めた日程に講師を派遣し、授業支援を行うものとする。
講師は、毎週金曜日の4コマ目(14:50~16:20)の2クラス同時開講の授業支援と、続けて5コマ目(16:30~18:00)の2クラス同時開講の授業支援を行うものとする。
 - (2) 業務回数と業務内容
第1回から第15回までの全15回の授業の支援業務を行う。
業務内容は原則として別紙の「シラバス」に基づくものとし、本学が指定するテキストを使用する。
また、授業の受講前と受講後のアンケートにより、学習成果を検証するものとする。

(3) 業務条件

気象警報発令等による休講や本学行事、教員の都合等により、やむを得ず授業日を振り替えた場合には、受注者は、振り替えた授業日における講師の派遣の確保を図るものとする。

8 授業の管理

講師は、本学教員と事前打合せを行い、その指示及び授業概要に沿って授業の支援を行う。

9 経費の負担

講師の交通費は本契約に含むものとし、学生に配布する資料は本学内で印刷する。またテキストは受講学生の負担とする。

10 個人情報保護措置

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）の規定に基づき、具体的な保護措置をするものとし、その内容については別途協議するものとする。

11 情報セキュリティの対策について

受注者は、情報セキュリティ対策を実施すること。具体的な対策については、本学の指示に従うものとする。

12 業務報告

受注者は、業務の実施状況について、全業務の終了後、遅滞なく本学事務局学務課へ業務報告書の提出により報告しなければならない。

13 委託料の支払

業務委託料の支払は、一括払いとする。本学が、本業務の検査を完了し、契約の適正な履行及び完了を確認した後、受注者からの請求書の送付をもって支払う。

14 その他

本仕様書に定めのない事項及び不明な点は、発注者と受注者とが協議する。

授業科目名	大学入門ゼミⅡ 1クラス	授業コード	1GPT00301		
授業科目名(英語)	Freshman's SeminarⅡ 1クラス				
担当教員名	玉井 由樹、岡辺 重雄、清水 聡行、宮前 良平、上別府 隆男				
授業科目区分	共通教育科目－人間力科目－入門ゼミ				
履修区分(卒業条件)	必修	免許・資格			
配当年次・学期	1年－Ⅲ～Ⅳ期	授業形態	演習	単位数	2単位

本授業の到達目標(本授業で学生が身につけるもの・身につける力)

「主体的に学ぶ」をキーワードに、「クリティカルシンキング(批判的思考)」と「ロジカルライティング(論理的な文章作成)」を学び、大学生にとって基礎的な能力となる「考える力」、「まとめる力」、「書く力」を身につける。

本授業の概要

大学4年間において問題解決能力を身につけることが求められる。そこで、クリティカルシンキングでは、自分で問題を見つけ出し、考えて行動するために必要となる思考の「型」を学び、ロジカルライティングでは、自分で考えた内容、意見を的確に伝えるために必要となる要約、表現の「型」を学ぶ。

【実務経験のある教員による授業科目】

岡辺：都市計画コンサルタントとして各種の都市計画関連業務に従事

玉井：民間企業において創業支援に関する業務に従事

授業計画

授業回	テーマ	授業内容等
第1回	クリティカルシンキング①	大学で求められる「考える力」
第2回	クリティカルシンキング②	論理の明確化
第3回	クリティカルシンキング③	表れていない考えに着目する、隠れた前提
第4回	クリティカルシンキング④	根拠自体が妥当かを確認する、根拠の確かさ
第5回	クリティカルシンキング⑤	実践で活かす
第6回	クリティカルシンキング⑥	問題解決能力へ結びつける
第7回	クリティカルシンキング⑦	クリティカルシンキングまとめ
第8回	ロジカルライティング①	ロジカルに考えをまとめ、ロジカルに書く
第9回	ロジカルライティング②	主張、意見を考える
第10回	ロジカルライティング③	根拠をたくさん出す
第11回	ロジカルライティング④	整理する
第12回	ロジカルライティング⑤	文章にする
第13回	ロジカルライティング⑥	ロジカルライティングまとめ
第14回	総合まとめ①	クリティカルシンキングとロジカルライティングを組み合わせる
第15回	総合まとめ②	データベーストシンキング(事実を基に思考する力を鍛える)

授業時間外の自己学習

日頃から新聞を読み、社会情勢等をしっかり把握しておくこと(朝日新聞、産経新聞、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞、山陽新聞、中国新聞等)。

本授業に関連する参考書・参考資料

特になし

テキスト

別途、指示する。

学習成果の評価基準	備考	
授業参加の態度	50%	授業内で行う課題の進捗や完成度によって評価
レポート	50%	





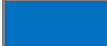


学習成果の評価観点

到達目標	成績評価の観点
G1	多面的な視点でものごとを捉える力を身につける。
G2	複合的・総合的な視野に立って、新しい時代に求められる価値観を構想し創造する力を身につける。
G3	課題の解決に向けたクリティカルシンキングとロジカルライティングを身につける。
関連する科目	連絡先
入門ゼミⅠ，都市経営ゼミ，専門演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究 GIS演習Ⅰ・Ⅱ，社会調査法	(代表教員) 玉井研究室 研究棟3階 309 (電話番号) 084-999-1065 (直通) (e-mail) y-tamai@fcu.ac.jp
学生へのメッセージ (履修要件など)	
これらの基礎的な力は、皆さんがそれぞれに描いた将来像を実現する上でも重要なものとなります。	

2024年度(令和6年度)「大学入門ゼミⅡ」授業スケジュール

毎週金曜 4時限2クラス, 5時限3クラス(第3~4学期)

第3学期・第4学期							
月/曜日	日	月	火	水	木	金	土
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27①	28
	29	30	1	2	3	4②	5
10月	6	7	8	9	10	11③	12
	13	14	15	16	17	18④	19
	20	21	22	23	24	25⑤	26
	27	28	29	30	31	1⑥	2
11月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15⑦	16
	17	18	19	20	21	22⑧	23
	24	25	26	27	28	29⑨	30
12月	1	2	3	4	5	6⑩	7
	8	9	10	11	12	13⑪	14
	15	16	17	18	19	20⑫	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
1月	5	6	7	8	9	10⑬	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24⑭	25
	26	27	28	29	30	31⑮	1
2月	2	3	4	5	6	7⑯	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	1
3月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

	授業期間		休業期間		全学休講日
	調整日		予備日		卒業論文発表日
	振替授業日				

- 【注1】 定期試験は、原則として16回目の授業に行います。
- 【注2】 予備日は、気象警報発令等により休止となった授業の実施等に利用します。
- 【注3】 調整日は、学内の行事等利用します。